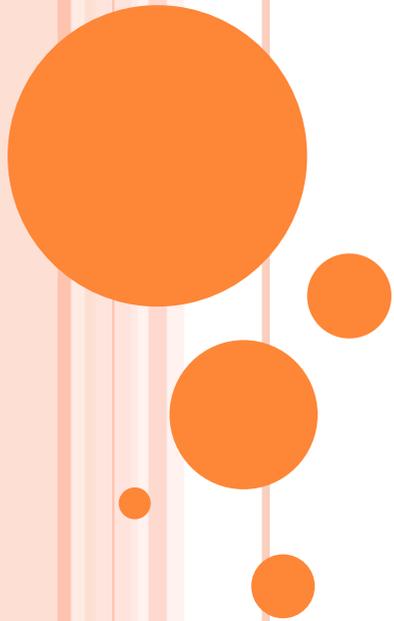


採択までにおこないたい4つのこと（案）



（事業担当者向け資料）

★地元に推進するにあたって

- 1 区域を決定しましょう
～農振図を用意し、現況・要望内容を図面におとしましょう～
- 2 推進組織を立ち上げましょう
～推進体制を確立しよう～
- 3 土地利用を確認しましょう
～既存の台帳等をベースに一覧表を作成しよう～
- 4 地元の意向を確認しましょう
～意向調査を行いましょよう～

※本資料は、市町村等から「ほ場整備(埼玉型)」について、相談があった際、市町村が県調査採択申請までに行うことをまとめたものです。



1 区域を決定しましょう

基盤整備の要望があったら

★ 事業制度の地元説明会実施

事業制度について、地元へ説明しましょう！（埼玉型ほ場整備のPR資料等で）

事業意向のアンケート

★ 基盤整備事業についての地権者アンケート

区画拡大や道水路整備などの基盤整備に取り組みたいかの簡単なアンケートをとってみましょう。アンケート結果により、推進するエリアと取り組めないエリアが区分できるかもしれません！

現状把握

地域の意向で関心が高かった場合

- ・ 農業振興地域の指定状況
- ・ 農業水利の状況
- ・ 区画の状況（未整備、10a区画、30a区画以上）
- ・ 担い手の状況
- ・ 中間管理事業の取り組み状況（意向も含めて）

基盤整備の意向が少ない場合

現時点では推進はしないが、引き続き説明会を行い、熟度を高め、地区に取り込める様に調整する。

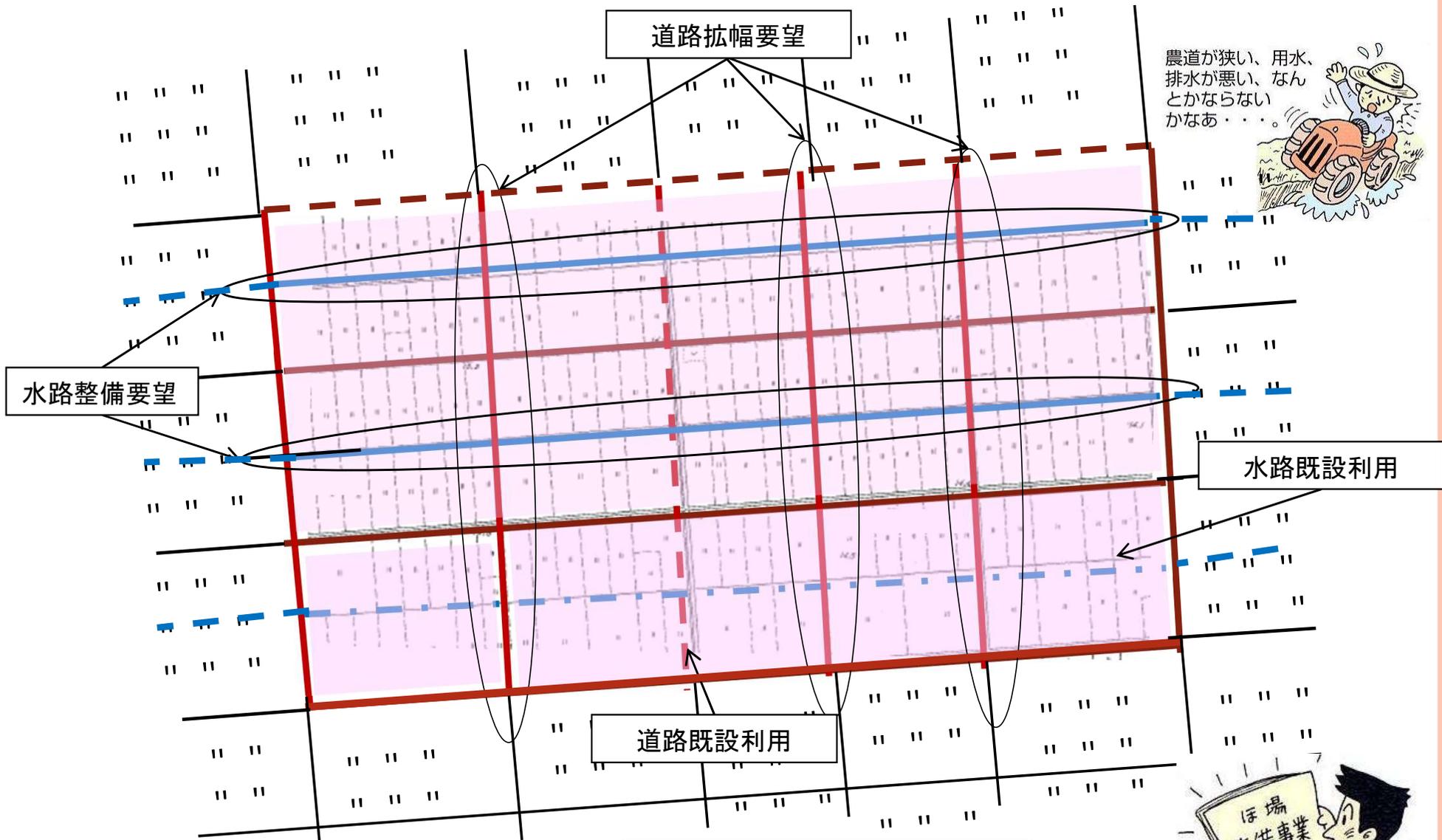
図面等で要望の整理

- ・ 農地ナビやQGISを利用して、現況の田、畑の状況を記載した図面を作成する（道路台帳や水路台帳、公図等参考）
- ・ 用排水路の管理状況（管理者、用排水の系統、用排兼用か分離か、二次製品か土水路か）
- ・ 要望のあった道路・用排水路の位置を表示



対象地域の設定へ

要望を整理したイメージ図



白図や農振図に
要望箇所や既設利用箇所などの
要望に併せて、
区域案を作ってみましょう。

2 推進組織を立ち上げましょう

地域の農家皆様へ情報伝達や要望把握、地域の意見統一がスムーズに出来る様に、組織を立ち上げましょう！

代表者の選任

★ 整備要望のある方々から集落の代表となる方を選出

地区内の自治会長や農事組合長や補佐しながら意見等を持っている方などから、会長、副会長を決めてください。



推進組織の立ち上げ

★ 集落の代表者を軸に推進組織を設立

- ・ 基盤整備に関すること
- ・ 担い手の育成確保と農地利用に関すること
- ・ 農地の利用集積に関することなど



【ワンポイントアドバイス】

意見集約を図るため、正副会長と担い手等で、事前調整等行うとより進みやすいと思われれます。

また、事業規模によるが、専門部会等を設けて進めることもあります。

地域が一体となった農業基盤整備を行い農地集積、担い手確保へ

推進組織のイメージ図

【〇〇地区ほ場整備推進協議会（例）】

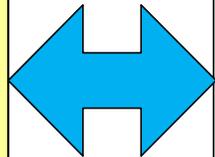
【目的】

- ・ ほ場整備の事業化に向けた円滑な推進を図る
- ・ 地権者の意思決定組織

【メンバー】

- ・ 会 長：自治会長や農事組合長などのリーダー格
- ・ 副会長：会長を補佐しながら意見を持っている方
- ・ 会 員：各集落の代表者等
(農事組合・自治会組織を生かして)

市町村
県
土地改良区



連携・支援

整備検討部会

【主な役割】

- ・ 整備内容の検討
(用排水計画
道路計画
等)

営農検討部会

【主な役割】

- ・ 農地利用状況の把握
- ・ 農地集積方針の検討
- ・ 担い手候補者の選定
等

管理部会

【主な役割】

- ・ 日程調整
- ・ 開催通知の発送
等

※このような部会を無理に作る必要はありません。例えば、正副会長と営農部会長等の役員会で、整備内容を調整できればよいと思います。

3 土地利用を確認しましょう

土地利用状況が分かれば、所有者と地目が整理され、意向調査を行う際にも、スムーズな対応につながります。



土地・所有者情報の整理

★該当する地域の所有者情報を整理

- ・ 土地所有者情報（住所、氏名）
- ・ 土地情報（所在地、地目、面積）

- ・ 水田台帳、水路台帳、登記簿等を参考に！
- ・ 用水の賦課状況もわかれば表示しましょう。

※農地中間管理事業と一体に取り組んでいくので、農地中間管理事業担当者と連携してください。

なお、農地中間管理取得農地一覧や農地配分計画一覧等があれば、活用してください。

また、農地中間管理事業に取り組む予定で農地の出し手受け手希望者を把握している場合はそのリストを活用してください。

賃借状況の確認

- ・ 農地中間管理事業に取り組んでいるか確認
- ・ 農業委員会等を通じた賃借等を行っているか
- ・ 企業や法人が参入しているか



土地所有者情報をもとに、アンケート調査へ

地権者情報の整理イメージ図

★中間管理事業に取り組んでいる場合は、そのリストや配分一覧表等を活用してください。

【中間管理事業のリストを作成していない場合】

登記簿所有										貸付等の区分		用水賦課状況
市町名	大字	字名	地番	枝番	地目	用途	地籍 (m ²)	地権者名	住所	貸付先	耕作者	
〇〇市	△	△	3	123	田	田	500	埼玉太郎	さいたま市大字〇〇	個人	計画次郎	有
〇〇市	△	△	4	234	田	畑	300	埼玉太郎	さいたま市大字〇〇	中間管理	〇△	有
〇〇市	△	△	5	555	畑	田	200	加須太郎	加須市〇〇			有
〇〇市	△	△	12	333	田	田	450	加須太郎	加須市〇〇	中間管理	〇△	有
〇〇市	△	△	2	111	田	田	600	加須次郎	加須市〇〇			有
〇〇市	△	△	4	222	田	田	350	浦和花子	久喜市〇〇	個人	—	有
〇〇市	△	△	5	111	田	畑	200	浦和花子	久喜市〇〇	企業	〇△社	有
〇〇市	△	△	6	11	畑	畑	200	浦和花子	久喜市〇〇			無

※ 上記一覧表のうち、所在地、地目、面積、所有者が把握できれば、地域の意向調査結果がまとめやすくなります。

4 地元の意向を確認しましょう

推進組織が中心となり各農家へ事業の理解を深めてもらい、意向を確認しましょう。

地元説明会

★ 地元説明会や推進地区の視察の実施

- ・ 要望内容の確認、整備イメージ等説明しましょう
- ・ 先進事例の視察等を行い、メリット、デメリットを把握しましょう。

チェックポイントは！

- ・ 事業費の上限がある。（効果見合い）
- ・ 事業効果1.0以上
- ・ 農地集積、担い手の確保
- ・ 寄付採納について

◎ これらについて正しく理解されているか



地元の意向調査

★ アンケート調査等を活用し地域の意向を把握

- ・ 代表者の方の意見だけでは動きません。事業調査を行うには、地域の方々の意向を把握する必要があります。
- ・ アンケート調査を行い、事業への賛否、事業への理解度、農地の規模拡大、縮小、現状維持や担い手の状況等を意向把握しましょう

※意向調査結果をもとに、農地集積割合や担い手確保の見込みについて、事前検討を行おう！

※同意が少ない場合は、問題点を整理してもう一度地元説明会に戻りましょう

同意90%未満の場合

【事業への賛成が9割を越えたら！】

県営新規事業調査要望地区へ要望する

アンケートのイメージ

〇〇地域 ほ場整備 アンケート(案)

回答者のお名前、年齢、ご住所を記入してください

お名前 () 年齢 ()

ご住所 ()

回答者と異なる場合、わかる範囲で記入してください。

記載例：父、母、息子、娘、貸主など。

土地名義人 () 回答者との関係 ()

Q 基盤整備の事業を行うことについて賛成ですか
反対ですか。

ア 賛成 イ 皆が賛成すれば賛成 ウ 反対

Q 事業について不明な点がありますか

ア ない イ ある ウ 興味がない

Q 農業後継者はいますか。

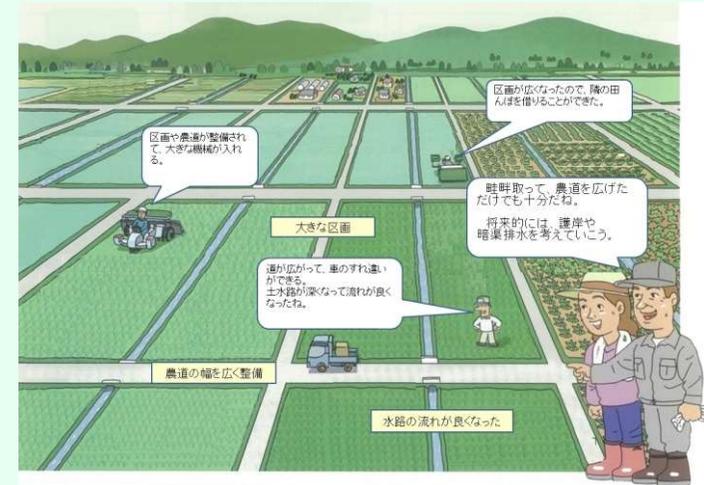
ア いる イ いない ウ よく分からない (未定)

Q 所有農地は現在どうしていますか。

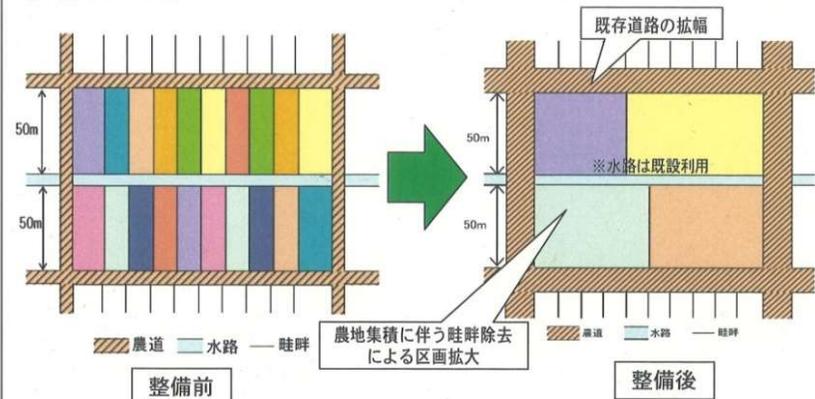
ア 自作 イ 貸し付けている ウ 耕作放棄地等

Q 整備後の農地はどうしたいか

ア 規模縮小 イ 拡大 ウ 現状維持



【整備イメージ】



意向調査には、イメージ図や他地区の事例等添付するとわかりやすいよ！

また、アンケートは、所有者だけでなく、耕作者（借り手側）にも行うと利用集積計画にもつながるよ

